

平成 28 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス				
教科目名	空間デザイン基礎	担当教員	今田太郎	
学年学科	2年 建築学科	前期	必修	1単位
学習・教育目標 (D-2) 100%				
授業の目標と期待される効果： 3次元図法を用いて3次元空間を表現する事を学ぶ。同時に3次元空間をデザインし、自らの作品のプレゼンテーションを行える能力を養う。 ① 3次元図法を用いて、建築・3次元空間等を表現できる。 ② 3次元空間を創造的に組み立てられる ③ プレゼンテーション能力を高める		成績評価の方法： 中間試験(100点)、2課題(各100点)をもとに評価を行う。試験30%、課題70%の重み付けで算出した得点率によって評価をする。また、授業に対する姿勢も考慮し、授業の進行を妨げる行為・消極的な態度に対しては、得点率の1~10%を減じた値で評価する。具体的には、出席簿に記載した注意の回数と減点(%)を対応させる。 達成度評価の基準： ① 学習した表現技術について6割以上理解できる。 ② テーマに対応した創造的なデザインが出来る。 ③ 創意工夫を持って丁寧に作業し、美しく分かりやすい作品を作成することができる。		
授業の進め方とアドバイス： 3次元の表現技術を習得するには、自ら理解し習得する努力が求められる。課題の有無に関わらず、各自自宅で練習すること。 積極的に建築・デザインの雑誌等に目を通して、感性を養うと同時に、表現技術を参考とすること。				
教科書および参考書： 建築デザインの製図法から簡単な設計まで—建築設計演習基礎編—(武者英二、永瀬克己著、彰国社) 参考書： 各種建築雑誌(新建築・GA・カーサブルータス等)				
授業の概要と予定：前期				ALのレベル
第 1回：授業の内容と進め方 課題1 呈示「スケール感の把握」				
第 2～3回：正投影およびアクソメトリック図				B
第 4～6回：透視図法の原理と2消点透視図法				B
第 7回：課題1 講評会 課題2 呈示「空間の構想力を養う」				A
第 8回：中間試験				
第 9～14回：透視図法による表現				B
第 15回：第2課題講評会				A

評価 (ルーブリック)

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	学習した表現技術を使いこなすことが(8割以上)できる。	学習した表現技術についての問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	学習した表現技術についての問題を解くことができない。
②	テーマに対応した創造的なデザインが(8割以上)できる。	テーマに対応した創造的なデザインについて、ほぼ的確(6割以上)に行うことができる。	テーマに対応した創造的なデザインができない。
③	創意工夫を持って丁寧に作業し、美しく分かりやすい作品を作成することが(8割以上)できる。	創意工夫を持って丁寧に作業し、美しく分かりやすい表現をほぼ的確(6割以上)に行うことができる。	創意工夫を持って丁寧に作業し、美しく分かりやすい作品を作成することができない。